

3. 素材流通体制の強化

①木材市場の機能強化

素材の流通の効率化を促進するため、ニーズに基づく現地における選別、川上・川下の需給マッチング、需給データベースの構築を推進し、木材市場の機能強化を図ります。

○現地選別の推進

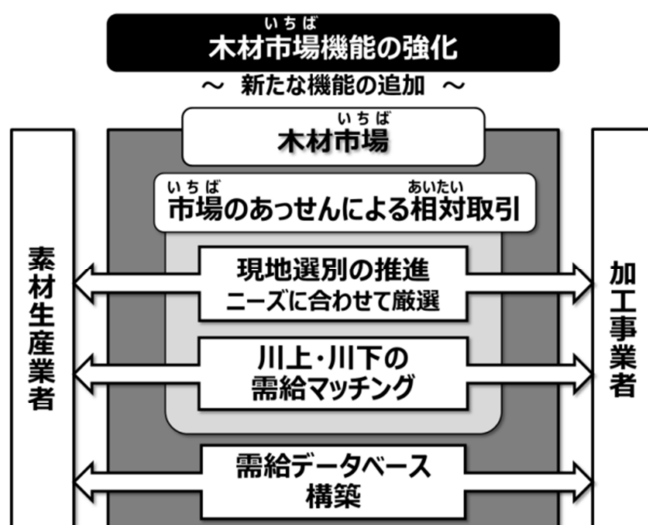
素材流通の効率化を進めるため、市場のあっせんによる相対取引を促進し、必要に応じて山土場等でニーズに基づき選別を行い、加工事業者へ直送できる体制を構築します。

○川上・川下の需給マッチング

木材市場が需給情報を積極的に収集し、素材生産業者に対しては加工事業者のニーズを、また加工事業者に対しては素材生産業者の生産見込みを提供することにより、地域内の需給が適切にマッチングするようコーディネートします。

○需給データベースの構築

素材の安定供給に向けた流通体制を確立するため、素材生産業者と木材市場、加工事業者を結ぶデータベースの構築を図ります。



進捗管理目標

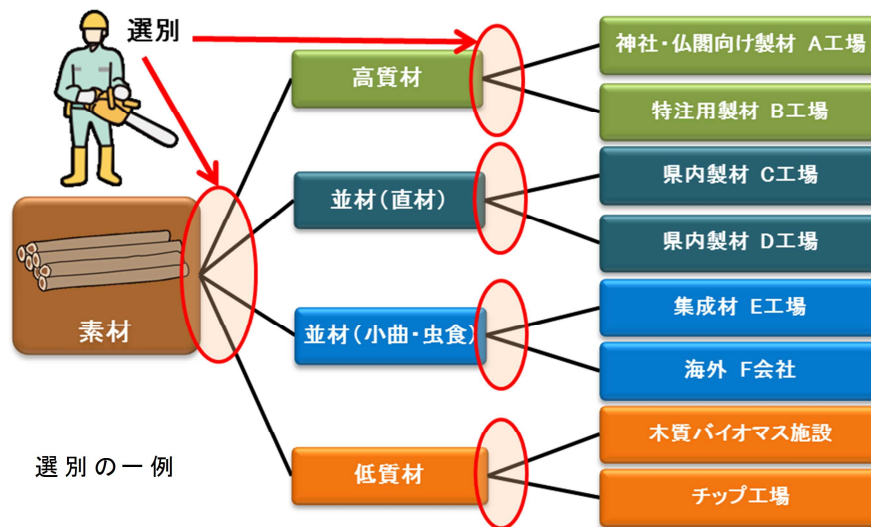
指標	基準値 (2015年度)	目標値 (2021年度)
市場による現地選別素材取扱率	—	30%
需給データベースへの参入企業数	—	川上:53社 川下:98社

②選別技術者の育成

素材の現地選別を推進するため、和歌山県農林大学校で実施する研修において、選別に係る基礎的な知識及び技術を習得させるとともに、林業事業体における実践的な研修を推進し、官民一体の取組で選別技術者の育成を図ります。

○農林大学校における技術研修

素材販売の手取り収入を最大限とするとともに、加工事業者のニーズに応じた素材選別技能を有する技術者を育成するため、農林大学校林業研修部において、基礎的な知識及び技術を習得する研修を実施します。



○林業事業体におけるOJT研修

農林大学校での研修のほか、林業現場等において実施する実践的な研修を推進します。



伐採現場で造材状況を学ぶ



木材市場で買い方の傾向を知る

進捗管理目標

指標	基準値 (2015年度)	目標値 (2021年度)
新規選別技術者	—	10名